

# 倶知安

右岸尾根は白く、C1000くらいまでシールで、それ以上はツポで行く。雪はしまっており、表面は霜のようになっていた。スロープ上は岩や砂利が露出している。  
1回目はなだらかにスロープに入れるところを探してはいる。ボール状地形の真ん中を落とした。待機は右岸尾根下。  
2回目はすべてツポで登り、ポッコのあるピークまで行き、その直下から、露岩の間の沢型を落とし、1回目のラインに合流した。待機は右岸尾根下。死角があったが、桑原さんに1回目の滑り出し地点に立ってもらって、全視を確保した。

雪庇 3m くらい

取り付いた尾根は、カンバまばらに生えている。シールで登りきれた。台地はカンバ帯。

